

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鹿児島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	鹿屋医療センター	2
-	大島病院	3
-	始良病院	4
-	薩南病院	5
-	北薩病院	6
鹿児島市	市立病院	7
枕崎市	市立病院	8
出水市	出水総合医療センター	9
垂水市	垂水中央病院	10
霧島市	医師会医療センター	11
南さつま市	市立坊津病院	12
肝付町	町立病院	13
公立種子島病院組合	公立種子島病院	14

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 鹿屋医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,834 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	182	53.9	54.3	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	52.8	53.2	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.3	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	938,638,816	
標準財政規模(千円)	496,505,791	
財政力指数	0.33756	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	195.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,138,582			
1 経常収益	4,138,582			
(1) 医業収益	2,871,967			
(うち修正医業収益)	2,736,489			
入院収益	1,901,972			
外来収益	794,610			
診療収入計	2,696,582			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	175,385			
(うち他会計負担金)	135,478			
(2) 医業外収益	1,266,615			
(うち国・都道府県補助金)	618,312			
(うち他会計補助・負担金)	457,220			
(うち長期前受金戻入)	178,647			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,771,482			
2 経常費用	3,770,898			
(1) 医業費用	3,589,115			
職員給与費	2,082,653	72.5	60.2	66.7
材料費	676,025	23.5	25.3	17.8
(うち薬品費)	357,635	12.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	292,659	10.2	11.6	9.2
減価償却費	242,405	8.4	9.0	10.4
経費	579,157	20.2	22.5	28.7
(うち委託料)	272,009	9.5	12.5	13.3
研究研修費	4,949			
資産減耗費	3,926			
(2) 医業外費用	181,783			
(うち支払利息)	49,670	1.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	584			
損益	367,684			
純損益	367,100			
累積欠損金	5,181,388			
経常収支比率	109.8		105.6	105.7
医業収支比率	80.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	76.2		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.3		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	94.0		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,864,061
1 固定資産	22,169,379
(1) 有形固定資産	15,574,734
(2) 無形固定資産	7,550
(3) 投資その他の資産	6,587,095
2 流動資産	14,694,682
(1) 現金及び預金	10,698,612
(2) 未収金及び未収収益	1,542,701
(3) 貸倒引当金()	2,411
(4) 貯蔵品	25,119
3 繰延資産	-
負債合計	14,776,368
1 固定負債	7,246,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,592,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,654,013
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,167,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	632,643
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,876,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,361,835
(1) 長期前受金	13,040,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,678,877
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	22,087,693
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-4,991,118
(1) 資本金剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-5,574,315
負債・資本合計	36,864,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	592,612	592,698
資本勘定繰入	244,420	244,429
計	837,032	837,127

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名	大島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,419 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	331	67.7	62.0	73.6
療養	-	-	-	-
結核	15	2.0	4.9	3.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	350	64.2	58.8	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.7	13.2

設立団体の状況	
人口(人)	1,588,256
決算規模(千円)	938,638,816
標準財政規模(千円)	496,505,791
財政力指数	0.33756
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.3
将来負担比率(%)	195.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,501,641			
1 経常収益	8,501,641			
(1) 医業収益	6,862,139			
(うち修正医業収益)	6,305,799			
入院収益	4,592,307			
外来収益	1,618,949			
診療収入計	6,211,256			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	650,883			
(うち他会計負担金)	556,340			
(2) 医業外収益	1,639,502			
(うち国・都道府県補助金)	514,342			
(うち他会計補助・負担金)	884,401			
(うち長期前受金戻入)	201,370			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,947,609			
2 経常費用	7,947,025			
(1) 医業費用	7,657,426			
職員給与費	4,436,068	64.6	60.2	60.7
材料費	1,649,629	24.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	896,862	13.1	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	687,236	10.0	11.6	11.7
減価償却費	441,181	6.4	9.0	9.2
経費	1,115,336	16.3	22.5	21.2
(うち委託料)	617,712	9.0	12.5	11.9
研究研修費	11,540			
資産減耗費	3,672			
(2) 医業外費用	289,599			
(うち支払利息)	3,771	0.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	584			
経常損益	554,616			
純損益	554,032			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.0		105.6	106.9
医業収支比率	89.6		85.1	85.8
修正医業収支比率	82.3		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	16.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	88.8		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,864,061
1 固定資産	22,169,379
(1) 有形固定資産	15,574,734
(2) 無形固定資産	7,550
(3) 投資その他の資産	6,587,095
2 流動資産	14,694,682
(1) 現金及び預金	10,698,612
(2) 未収金及び未収収益	1,542,701
(3) 貸倒引当金()	2,411
(4) 貯蔵品	25,119
3 繰延資産	-
負債合計	14,776,368
1 固定負債	7,246,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,592,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,654,013
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,167,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	632,643
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,876,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,361,835
(1) 長期前受金	13,040,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,678,877
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	22,087,693
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-4,991,118
(1) 資本金剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-5,574,315
負債・資本合計	36,864,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,440,618	1,440,741
資本勘定繰入	78,315	78,315
計	1,518,933	1,519,056

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
始良病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,604 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	334	76.0	74.8	75.8
感染症	-	-	-	-
計	334	76.0	74.8	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,588,256
決算規模(千円)	938,638,816
標準財政規模(千円)	496,505,791
財政力指数	0.33756
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.3
将来負担比率(%)	195.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,307,166				
1 経常収益	3,307,166				
(1) 医業収益	2,289,781				
(うち修正医業収益)	2,273,400				
入院収益	1,934,218				
外来収益	325,824				
診療収入計	2,260,042				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	29,739				
(うち他会計負担金)	16,381				
(2) 医業外収益	1,017,385				
(うち国・都道府県補助金)	108,873				
(うち他会計補助・負担金)	809,100				
(うち長期前受金戻入)	80,122				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,707,873				
2 経常費用	2,707,289				
(1) 医業費用	2,566,628				
職員給与費	1,746,983	76.3	60.2	106.2	
材料費	297,882	13.0	25.3	8.8	
(うち薬品費)	215,151	9.4	13.3	6.2	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,104	0.8	11.6	1.4	
減価償却費	146,109	6.4	9.0	14.3	
経費	372,088	16.2	22.5	34.9	
(うち委託料)	205,694	9.0	12.5	19.5	
研究研修費	2,733				
資産減耗費	833				
(2) 医業外費用	140,661				
(うち支払利息)	1,396	0.1	1.2	2.4	
(3) 特別損失	584				
損益					
経常	599,877				
純	599,293				
累積欠損金	-				
経常収支比率	122.2		105.6	102.7	
医業収支比率	89.2		85.1	60.7	
修正医業収支比率	88.6		82.2	58.3	
他会計繰入金対経常収益比率	25.0		11.3	31.2	
他会計繰入金対医業収益比率	36.1		14.9	55.2	
他会計繰入金対総収益比率	25.0		11.2	31.1	
実質収益対経常費用比率	91.7		93.6	70.6	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,864,061
1 固定資産	22,169,379
(1) 有形固定資産	15,574,734
(2) 無形固定資産	7,550
(3) 投資その他の資産	6,587,095
2 流動資産	14,694,682
(1) 現金及び預金	10,698,612
(2) 未収金及び未収収益	1,542,701
(3) 貸倒引当金()	2,411
(4) 貯蔵品	25,119
3 繰延資産	-
負債合計	14,776,368
1 固定負債	7,246,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,592,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,654,013
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,167,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	632,643
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,876,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,361,835
(1) 長期前受金	13,040,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,678,877
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	22,087,693
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-4,991,118
(1) 資本金剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-5,574,315
負債・資本合計	36,864,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	824,549	825,481
資本勘定繰入	140,034	140,034
計	964,583	965,515

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名		薩南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,540 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	151	54.5	56.0	61.4
療養	-	-	-	-
結核	20	0.4	0.2	6.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	175	47.0	48.3	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.2	13.4

設立団体の状況	
人口(人)	1,588,256
決算規模(千円)	938,638,816
標準財政規模(千円)	496,505,791
財政力指数	0.33756
経常収支比率(‰)	92.8
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(‰)	-
連結実質赤字比率(‰)	-
実質公債費比率(‰)	11.3
将来負担比率(‰)	195.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,117,140			
1 経常収益	3,117,140			
(1) 医業収益	2,490,220			
(うち修正医業収益)	2,373,294			
入院収益	1,648,408			
外来収益	685,046			
診療収入計	2,333,454			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	156,766			
(うち他会計負担金)	116,926			
(2) 医業外収益	626,920			
(うち国・都道府県補助金)	312,226			
(うち他会計補助・負担金)	259,577			
(うち長期前受金戻入)	46,682			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,016,565			
2 経常費用	3,015,981			
(1) 医業費用	2,861,436			
職員給与費	1,648,143	66.2	60.2	66.7
材料費	702,115	28.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	301,824	12.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	378,050	15.2	11.6	9.2
減価償却費	148,671	6.0	9.0	10.4
経費	358,114	14.4	22.5	28.7
(うち委託料)	193,719	7.8	12.5	13.3
研究研修費	2,695			
資産減耗費	1,698			
(2) 医業外費用	154,545			
(うち支払利息)	285	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	584			
損益	101,159			
純損益	100,575			
累積欠損金	1,580,832			
経常収支比率	103.4		105.6	105.7
医業収支比率	87.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	82.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	90.9		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,864,061
1 固定資産	22,169,379
(1) 有形固定資産	15,574,734
(2) 無形固定資産	7,550
(3) 投資その他の資産	6,587,095
2 流動資産	14,694,682
(1) 現金及び預金	10,698,612
(2) 未収金及び未収収益	1,542,701
(3) 貸倒引当金()	2,411
(4) 貯蔵品	25,119
3 繰延資産	-
負債合計	14,776,368
1 固定負債	7,246,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,592,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,654,013
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	3,167,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	632,643
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,876,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,361,835
(1) 長期前受金	13,040,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,678,877
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	22,087,693
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-4,991,118
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-5,574,315
負債・資本合計	36,864,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,266	376,503
資本勘定繰入	26,749	26,749
計	403,015	403,252

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(‰)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(‰)	34.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(‰)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(‰)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名	北薩病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,704 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	146	41.2	44.5	56.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	40.1	43.3	54.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	14.7	18.4

設立団体の状況	
人口(人)	1,588,256
決算規模(千円)	938,638,816
標準財政規模(千円)	496,505,791
財政力指数	0.33756
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.3
将来負担比率(%)	195.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,966,129			
1 経常収益	1,966,129			
(1) 医業収益	1,442,666			
(うち修正医業収益)	1,328,915			
入院収益	844,114			
外来収益	443,005			
診療収入計	1,287,119			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	155,547			
(うち他会計負担金)	113,751			
(2) 医業外収益	523,463			
(うち国・都道府県補助金)	278,934			
(うち他会計補助・負担金)	205,355			
(うち長期前受金戻入)	29,186			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,094,014			
2 経常費用	2,093,430			
(1) 医業費用	2,018,254			
職員給与費	1,299,098	90.0	60.2	66.7
材料費	205,079	14.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	125,770	8.7	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	64,200	4.5	11.6	9.2
減価償却費	137,317	9.5	9.0	10.4
経費	360,505	25.0	22.5	28.7
(うち委託料)	206,213	14.3	12.5	13.3
研究研修費	3,228			
資産減耗費	13,027			
(2) 医業外費用	75,176			
(うち支払利息)	18	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	584			
損益				
経常損	-127,301			
純損	-127,885			
累積欠損金	6,432,045			
経常収支比率	93.9		105.6	105.7
医業収支比率	71.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	65.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	16.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	78.7		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,864,061
1 固定資産	22,169,379
(1) 有形固定資産	15,574,734
(2) 無形固定資産	7,550
(3) 投資その他の資産	6,587,095
2 流動資産	14,694,682
(1) 現金及び預金	10,698,612
(2) 未収金及び未収収益	1,542,701
(3) 貸倒引当金()	2,411
(4) 貯蔵品	25,119
3 繰延資産	-
負債合計	14,776,368
1 固定負債	7,246,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,592,834
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,654,013
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	3,167,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	632,643
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,876,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,361,835
(1) 長期前受金	13,040,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,678,877
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	22,087,693
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-4,991,118
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-5,574,315
負債・資本合計	36,864,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,026	319,106
資本勘定繰入	33,994	33,994
計	353,020	353,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		鹿児島市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	568	81.7	84.2	90.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	50.7	30.4	-
計	574	81.4	83.7	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.7	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	593,128	
決算規模(千円)	294,612,280	
標準財政規模(千円)	138,752,949	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	25.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,235,083			
1 経常収益	24,235,083			
(1) 医業収益	21,631,923			
(うち修正医業収益)	21,427,848			
入院収益	15,197,375			
外来収益	5,861,770			
診療収入計	21,059,145			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	572,778			
(うち他会計負担金)	204,075			
(2) 医業外収益	2,603,160			
(うち国・都道府県補助金)	1,742,816			
(うち他会計補助・負担金)	594,270			
(うち長期前受金戻入)	100,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,973,409			
2 経常費用	23,970,890			
(1) 医業費用	22,580,260			
職員給与費	11,033,021	51.0	60.2	54.0
材料費	6,924,835	32.0	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,592,380	16.6	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,328,616	15.4	11.6	13.4
減価償却費	1,682,480	7.8	9.0	8.1
経費	2,849,519	13.2	22.5	19.6
(うち委託料)	1,717,174	7.9	12.5	12.7
研究研修費	66,010			
資産減耗費	24,395			
(2) 医業外費用	1,390,630			
(うち支払利息)	275,126	1.3	1.2	1.0
(3) 特別損失	2,519			
経常損益	264,193			
純損益	261,674			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		105.6	105.8
医業収支比率	95.8		85.1	89.1
修正医業収支比率	94.9		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	3.3		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	97.8		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,661,093
1 固定資産	24,255,764
(1) 有形固定資産	23,413,212
(2) 無形固定資産	155
(3) 投資その他の資産	842,397
2 流動資産	16,405,329
(1) 現金及び預金	11,950,414
(2) 未収金及び未収収益	4,341,336
(3) 貸倒引当金()	4,531
(4) 貯蔵品	117,636
3 繰延資産	-
負債合計	30,308,564
1 固定負債	24,661,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,429,113
(2) その他の企業債	450,180
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,781,711
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,134,401
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,504,098
(2) その他の企業債	120,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	636,795
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,767,274
(9) 前受金及び前受収益	480
3 繰延収益	1,513,159
(1) 長期前受金	2,477,918
(2) 長期前受金収益化累計額()	964,759
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,352,529
1 資本金	8,907,653
2 剰余金	1,444,876
(1) 資本金剰余金	279,260
(2) 利益剰余金	1,165,616
負債・資本合計	40,661,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	826,324	798,345
資本勘定繰入	707,237	640,756
計	1,533,561	1,439,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		枕崎市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,618 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	26	68.3	77.7	88.6
療養	29	84.6	72.1	87.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	76.9	74.2	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	16.6	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	20,033	
決算規模(千円)	16,439,797	
標準財政規模(千円)	6,577,106	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	84.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	741,211			
1 経常収益	741,211			
(1) 医業収益	490,745			
(うち修正医業収益)	476,647			
入院収益	332,043			
外来収益	114,852			
診療収入計	446,895			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	43,850			
(うち他会計負担金)	14,098			
(2) 医業外収益	250,466			
(うち国・都道府県補助金)	100,359			
(うち他会計補助・負担金)	104,111			
(うち長期前受金戻入)	30,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	665,205			
2 経常費用	665,205			
(1) 医業費用	632,477			
職員給与費	394,880	80.5	60.2	76.8
材料費	33,089	6.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	16,463	3.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,626	3.4	11.6	6.0
減価償却費	50,527	10.3	9.0	11.4
経費	149,859	30.5	22.5	31.5
(うち委託料)	55,268	11.3	12.5	14.5
研究研修費	4,087			
資産減耗費	35			
(2) 医業外費用	32,728			
(うち支払利息)	8,776	1.8	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	76,006			
純損益	76,006			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.4		105.6	103.4
医業収支比率	77.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	75.4		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	15.9		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	93.7		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,242,600
1 固定資産	708,896
(1) 有形固定資産	708,823
(2) 無形固定資産	73
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	533,704
(1) 現金及び預金	416,411
(2) 未収金及び未収収益	110,845
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,460
3 繰延資産	-
負債合計	841,943
1 固定負債	458,435
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	423,657
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	33,671
(7) 一 負債	1,107
2 流動負債	75,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,186
(6) リ 一 負債	1,654
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	308,373
(1) 長期前受金	537,256
(2) 長期前受金収益化累計額()	228,883
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	400,657
1 資本金	102,295
2 剰余金	298,362
(1) 資本金剰余金	157,402
(2) 利益剰余金	140,960
負債・資本合計	1,242,600
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	118,209	118,209
資本勘定繰入	16,962	16,962
計	135,171	135,171

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	出水市				
病院名	出水総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,861 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	257	58.4	61.3	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.3	2.3	0.1
計	261	57.5	60.5	56.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	21.5	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	51,994	
決算規模(千円)	30,100,650	
標準財政規模(千円)	16,615,215	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,873,040			
1 経常収益	5,873,040			
(1) 医業収益	4,263,274			
(うち修正医業収益)	4,218,831			
入院収益	2,693,976			
外来収益	1,375,375			
診療収入計	4,069,351			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	193,923			
(うち他会計負担金)	44,443			
(2) 医業外収益	1,609,766			
(うち国・都道府県補助金)	955,678			
(うち他会計補助・負担金)	373,963			
(うち長期前受金戻入)	217,485			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,144,221			
2 経常費用	5,144,221			
(1) 医業費用	4,841,769			
職員給与費	2,714,426	63.7	60.2	64.0
材料費	924,213	21.7	25.3	19.9
(うち薬品費)	416,304	9.8	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	460,651	10.8	11.6	9.6
減価償却費	316,467	7.4	9.0	9.9
経費	858,034	20.1	22.5	28.4
(うち委託料)	287,650	6.7	12.5	13.7
研究研修費	5,200			
資産減耗費	23,429			
(2) 医業外費用	302,452			
(うち支払利息)	40,681	1.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	728,819			
純損益	728,819			
累積欠損金	514,576			
経常収支比率	114.2		105.6	104.2
医業収支比率	88.1		85.1	81.4
修正医業収支比率	87.1		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	7.1		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	106.0		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,549,279
1 固定資産	3,303,490
(1) 有形固定資産	3,173,874
(2) 無形固定資産	17,602
(3) 投資その他の資産	112,014
2 流動資産	2,245,789
(1) 現金及び預金	1,406,618
(2) 未収金及び未収収益	815,560
(3) 貸倒引当金()	581
(4) 貯蔵品	22,174
3 繰延資産	-
負債合計	5,958,326
1 固定負債	4,031,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,178,432
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,572,000
(6) 引当金	1,276,589
(7) 一ス債務	3,767
2 流動負債	985,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	465,187
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	218,122
(6) リ一ス債務	1,255
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	282,943
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,275
(1) 長期前受金	2,120,269
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,177,994
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-409,047
1 資本金	94,938
2 剰余金	-503,985
(1) 資本剰余金	2,278
(2) 利益剰余金	-506,263
負債・資本合計	5,549,279
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	409,047
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	722,741	418,406
資本勘定繰入	274,604	274,604
計	997,345	693,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			鹿児島県
市町村・組合名	垂水市		
病院名	垂水中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,756 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	91	72.4	75.4	85.6
療養	35	83.7	79.5	88.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	75.6	76.5	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.2	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	13,819	
決算規模(千円)	12,804,155	
標準財政規模(千円)	5,752,925	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	406,623			
1 経常収益	404,263			
(1) 医業収益	42,917			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	42,917			
(うち他会計負担金)	42,917			
(2) 医業外収益	361,346			
(うち国・都道府県補助金)	9,161			
(うち他会計補助・負担金)	207,318			
(うち長期前受金戻入)	86,155			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,360			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	396,283			
2 経常費用	396,283			
(1) 医業費用	382,586			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	167,334	389.9	9.0	10.4
経費	214,954	500.9	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	298			
(2) 医業外費用	13,697			
(うち支払利息)	8,934	20.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	7,980			
純損益	10,340			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.0		105.6	105.7
医業収支比率	11.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	61.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	583.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	61.5		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	38.9		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,793,456
1 固定資産	1,145,086
(1) 有形固定資産	1,144,536
(2) 無形固定資産	550
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	648,370
(1) 現金及び預金	648,137
(2) 未収金及び未収収益	1,210
(3) 貸倒引当金()	977
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,232,146
1 固定負債	802,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	802,963
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	412,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,604
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	236,640
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,739
(1) 長期前受金	435,580
(2) 長期前受金収益化累計額()	418,841
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	561,310
1 資本金	362,950
2 剰余金	198,360
(1) 資本剰余金	113,365
(2) 利益剰余金	84,995
負債・資本合計	1,793,456
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,235	250,235
資本勘定繰入	53,519	53,519
計	303,754	303,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		霧島市			
病院名		医師会医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,612 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	250	79.3	83.2	91.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	100.0	56.7	-
計	254	79.6	82.8	90.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	11.7	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	123,135	
決算規模(千円)	71,881,452	
標準財政規模(千円)	35,411,758	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	83.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,465,251			
1 経常収益	6,455,166			
(1) 医業収益	5,665,783			
(うち修正医業収益)	5,628,380			
入院収益	3,942,104			
外来収益	1,609,277			
診療収入計	5,551,381			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	114,402			
(うち他会計負担金)	37,403			
(2) 医業外収益	789,383			
(うち国・都道府県補助金)	498,049			
(うち他会計補助・負担金)	197,057			
(うち長期前受金戻入)	36,099			
(うち資本費繰入収益)	48,680			
(3) 特別利益	10,085			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,405,406			
2 経常費用	6,375,754			
(1) 医業費用	6,076,256			
職員給与費	15,891	0.3	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	290,945	5.1	9.0	9.9
経費	5,760,037	101.7	22.5	28.4
(うち委託料)	2,406,185	42.5	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	9,383			
(2) 医業外費用	299,498			
(うち支払利息)	14,869	0.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	29,652			
損益	79,412			
純損益	59,845			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		105.6	104.2
医業収支比率	93.2		85.1	81.4
修正医業収支比率	92.6		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	4.1		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	3.6		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	97.6		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,710,060
1 固定資産	4,366,781
(1) 有形固定資産	4,366,781
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,343,279
(1) 現金及び預金	2,158,477
(2) 未収金及び未収収益	1,185,548
(3) 貸倒引当金()	846
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,409,824
1 固定負債	874,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,840
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	980,833
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	132,089
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,270
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	842,110
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	554,151
(1) 長期前受金	1,077,783
(2) 長期前受金収益化累計額()	523,632
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,300,236
1 資本金	1,883,933
2 剰余金	3,416,303
(1) 資本金剰余金	921,319
(2) 利益剰余金	2,494,984
負債・資本合計	7,710,060
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,460	234,460
資本勘定繰入	80,517	48,680
計	314,977	283,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		鹿児島県	
市町村・組合名	南さつま市		
病院名	市立坊津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,597 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	26	47.6	101.3	72.7
療養	-	-	-	70.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	26	47.6	101.3	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	21.5	21.5

設立団体の状況	
人口(人)	32,887
決算規模(千円)	30,691,101
標準財政規模(千円)	13,219,722
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	89.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	460,206			
1 経常収益	460,206			
(1) 医業収益	319,018			
(うち修正医業収益)	282,724			
入院収益	178,972			
外来収益	84,768			
診療収入計	263,740			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,278			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	141,188			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	117,005			
(うち長期前受金戻入)	10,299			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	417,768			
2 経常費用	417,768			
(1) 医業費用	413,787			
職員給与費	285,506	89.5	60.2	86.6
材料費	12,989	4.1	25.3	12.9
(うち薬品費)	7,917	2.5	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,072	1.6	11.6	5.1
減価償却費	18,486	5.8	9.0	12.7
経費	95,779	30.0	22.5	43.7
(うち委託料)	38,251	12.0	12.5	21.5
研究研修費	229			
資産減耗費	798			
(2) 医業外費用	3,981			
(うち支払利息)	3,981	1.2	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
損益	42,438			
純損益	42,438			
累積欠損金	30,333			
経常収支比率	110.2		105.6	102.4
医業収支比率	77.1		85.1	63.8
修正医業収支比率	68.3		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	33.3		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	48.1		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	33.3		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	73.5		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	773,277
1 固定資産	541,318
(1) 有形固定資産	541,318
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	231,959
(1) 現金及び預金	148,134
(2) 未収金及び未収収益	82,848
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	977
3 繰延資産	-
負債合計	451,610
1 固定負債	190,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	189,527
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,221
(7) 一 負債	-
2 流動負債	76,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,950
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,632
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	184,178
(1) 長期前受金	290,326
(2) 長期前受金収益化累計額()	106,148
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	321,667
1 資本金	321,388
2 剰余金	279
(1) 資本金剰余金	3,492
(2) 利益剰余金	-3,213
負債・資本合計	773,277
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,299	153,299
資本勘定繰入	7,725	7,725
計	161,024	161,024

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	肝付町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,371 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	39.1	44.2	73.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	39.1	44.2	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	18.6	20.6

人口(人)	14,227	
決算規模(千円)	11,171,459	
標準財政規模(千円)	6,341,096	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	532,566			
1 経常収益	526,348			
(1) 医業収益	282,134			
(うち修正医業収益)	221,214			
入院収益	118,395			
外来収益	89,597			
診療収入計	207,992			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,142			
(うち他会計負担金)	60,920			
(2) 医業外収益	244,214			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	233,687			
(うち長期前受金戻入)	8,912			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,218			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	566,100			
2 経常費用	563,407			
(1) 医業費用	541,861			
職員給与費	308,453	109.3	60.2	86.6
材料費	36,482	12.9	25.3	12.9
(うち薬品費)	22,712	8.1	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,770	4.9	11.6	5.1
減価償却費	26,083	9.2	9.0	12.7
経費	170,414	60.4	22.5	43.7
(うち委託料)	42,837	15.2	12.5	21.5
研究研修費	70			
資産減耗費	359			
(2) 医業外費用	21,546			
(うち支払利息)	399	0.1	1.2	1.2
(3) 特別損失	2,693			
損益	-37,059			
純損益	-33,534			
累積欠損金	209,427			
経常収支比率	93.4		105.6	102.4
医業収支比率	52.1		85.1	63.8
修正医業収支比率	40.8		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	56.0		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	104.4		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	55.3		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	41.1		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	755,855
1 固定資産	454,385
(1) 有形固定資産	454,335
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	301,470
(1) 現金及び預金	224,397
(2) 未収金及び未収収益	70,518
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,555
3 繰延資産	-
負債合計	390,134
1 固定負債	102,173
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,173
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	172,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,540
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,105
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	128,390
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	115,453
(1) 長期前受金	275,529
(2) 長期前受金収益化累計額()	160,076
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	365,721
1 資本金	575,148
2 剰余金	-209,427
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-209,427
負債・資本合計	755,855
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,698	294,607
資本勘定繰入	5,273	5,273
計	208,971	299,880

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

累積欠損金比率(%)	74.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		公立種子島病院組合			
病院名		公立種子島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,126 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 感 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	52.6	60.4	60.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	52.3	4.4	-
計	62	52.5	58.6	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	26.2	19.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,009,321			
1 経常収益	1,001,971			
(1) 医業収益	776,419			
(うち修正医業収益)	740,125			
入院収益	299,152			
外来収益	317,898			
診療収入計	617,050			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	159,369			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	225,552			
(うち国・都道府県補助金)	22,846			
(うち他会計補助・負担金)	113,532			
(うち長期前受金戻入)	86,143			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,350			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	970,079			
2 経常費用	962,729			
(1) 医業費用	920,021			
職員給与費	560,017	72.1	60.2	76.8
材料費	93,438	12.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	39,966	5.1	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,472	6.9	11.6	6.0
減価償却費	88,382	11.4	9.0	11.4
経費	177,626	22.9	22.5	31.5
(うち委託料)	89,175	11.5	12.5	14.5
研究研修費	558			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,708			
(うち支払利息)	25,124	3.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	7,350			
損益	39,242			
純損益	39,242			
累積欠損金	624,273			
経常収支比率	104.1		105.6	103.4
医業収支比率	84.4		85.1	74.3
修正医業収支比率	80.4		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	88.5		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,877,267
1 固定資産	1,690,339
(1) 有形固定資産	1,689,128
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	1,060
2 流動資産	186,928
(1) 現金及び預金	93,665
(2) 未収金及び未収収益	73,605
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,041
3 繰延資産	-
負債合計	1,816,381
1 固定負債	1,161,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,137,389
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	23,772
(7) 一ス債務	509
2 流動負債	166,494
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	104,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	1,845
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,128
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	488,217
(1) 長期前受金	1,083,192
(2) 長期前受金収益化累計額()	594,975
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	60,886
1 資本金	609,880
2 剰余金	-548,994
(1) 資本金剰余金	8,758
(2) 利益剰余金	-557,752
負債・資本合計	1,877,267
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,458	149,826
資本勘定繰入	76,675	119,240
計	218,133	269,066

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。